



青森県感染症発生情報 (2018年第36週)

I 第36週の発生動向 (2018/9/3~2018/9/9)

1. 手足口病については、**五所川原保健所管内とむつ保健所管内で警報**が継続しています。
2. 咽頭結膜熱については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。

II 第36週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減 数	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ															
小児科	RSウイルス感染症	4	0.50	13	1.44	12	1.20	10	2.00	6	1.00			45	1.07	-4
	咽頭結膜熱	1	0.13	1	0.11	1	0.10	7	1.40					10	0.24	4
	A群溶血性インフルエンザ咽頭炎	2	0.25	1	0.11	15	1.50	1	0.20	6	1.00	2	0.50	27	0.64	5
	感染性胃腸炎	28	3.50	10	1.11	29	2.90	17	3.40	5	0.83	8	2.00	97	2.31	-32
	水痘			4	0.44	5	0.50							9	0.21	1
	手足口病	26	3.25	13	1.44	1	0.10	23	4.60	23	3.83	18	4.50	104	2.48	-33
	伝染性紅斑	1	0.13			1	0.10					1	0.25	3	0.07	2
	突発性発しん	1	0.13	2	0.22	6	0.60	1	0.20	4	0.67	2	0.50	16	0.38	-10
	ヘルパンギーナ	10	1.25	6	0.67	19	1.90	4	0.80	28	4.67	7	1.75	74	1.76	-36
	流行性耳下腺炎	1	0.13	1	0.11	6	0.60			4	0.67	1	0.25	13	0.31	-15
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															-4
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎			1	1.00						5	5.00		6	1.00	-3
	無菌性髄膜炎															0

は警報、は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓

風しん (五類全数把握対象疾患) 第2回

風しんについては、2018年第30週から全国で報告件数が急増しており、主に首都圏からの報告によるものです(図)。

風しんは、風しんウイルスに感染することによって起こる急性の発しん性感染症です。風しんウイルスは患者の飛まつ(咳、くしゃみ)などによって他の人にうつります。主な症状は、発しん、発熱、リンパ節の腫れ等です。子どもの場合は比較的軽症ですが、まれに脳炎等の合併症を発症します。

風しんの予防には**予防接種**が最も有効です。定期接種の対象年齢者(1歳児、小学校入学前1年間の幼児)は**麻しん風しん混合ワクチン**を定期の予防接種として受けることができます。お住いの市町村の予防接種担当課にお問い合わせください。

平成28年度の感染症流行予測調査によると、男性の20代から30代前半は10人に1人、30代後半から50代は5人に1人が風しんの免疫を持っていませんでした。男性が風しんにかかり、妊娠中の女性に風しんをうつすと、赤ちゃんが難聴、白内障、先天性心疾患を特徴とする**先天性風しん症候群**を持って生まれる可能性があります。妊婦さんは予防接種を受けることが出来ませんが、妊婦さんの家族や風しんのり患歴・予防接種歴が明らかではない方は“成人男性でも”可能な限り早く予防接種を検討してください。詳しくは、かかりつけ医にご相談ください。

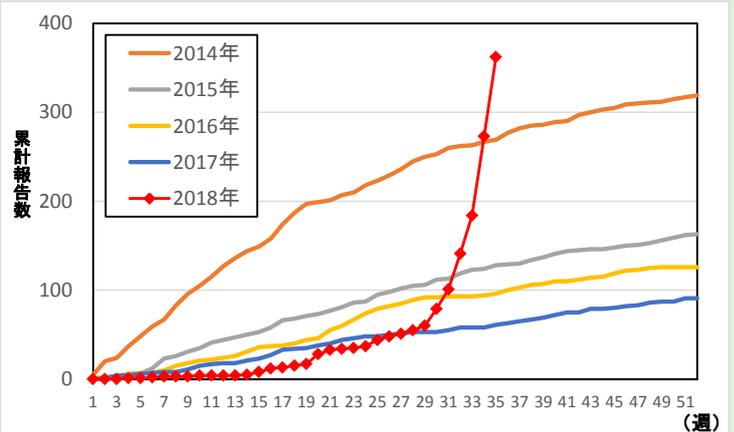


図: 全国における風しん累計報告数推移
(2014年第1週~2018年第35週)



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前1人、八戸市2人、上十三2人（2018年計：139人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：弘前1人（2018年計：34人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第33週～2018年第36週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
33	H30.8.13 ~ H30.8.19	梅毒1人 播種性クリプトコックス症1人	侵襲性肺炎球菌感染症1人 百日咳1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	レジオネラ症1人 梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症2人 梅毒1人 百日咳1人
34	H30.8.20 ~ H30.8.26	梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 百日咳3人	腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人
35	H30.8.27 ~ H30.9.2		腸管出血性大腸菌感染症3人 百日咳1人	レジオネラ症1人		腸管出血性大腸菌感染症3人	
36	H30.9.3 ~ H30.9.9		百日咳1人				

- ・第35週に青森市保健所管内で百日咳1例の届け出がありましたので追加しました。

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患)（2018年第33週～2018年第36週） (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
33	H30.8.13 ~ H30.8.19		1	2	1		
34	H30.8.20 ~ H30.8.26	2					
35	H30.8.27 ~ H30.9.2			1	2		
36	H30.9.3 ~ H30.9.9	1	1	2		2	

- ・第35週に八戸市保健所管内で結核1名届け出がありましたので追加しました。

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第35週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	14310	3	111	2681	22	14	291	706	8	5

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	5	3	2	58	1	3	97	109	163	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	2	33	7	2	1261	5	560	152	1298	29

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	488	11	141	485	870	52	330	25	2327	291

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	4523	126	77	50	5568	362	203	14

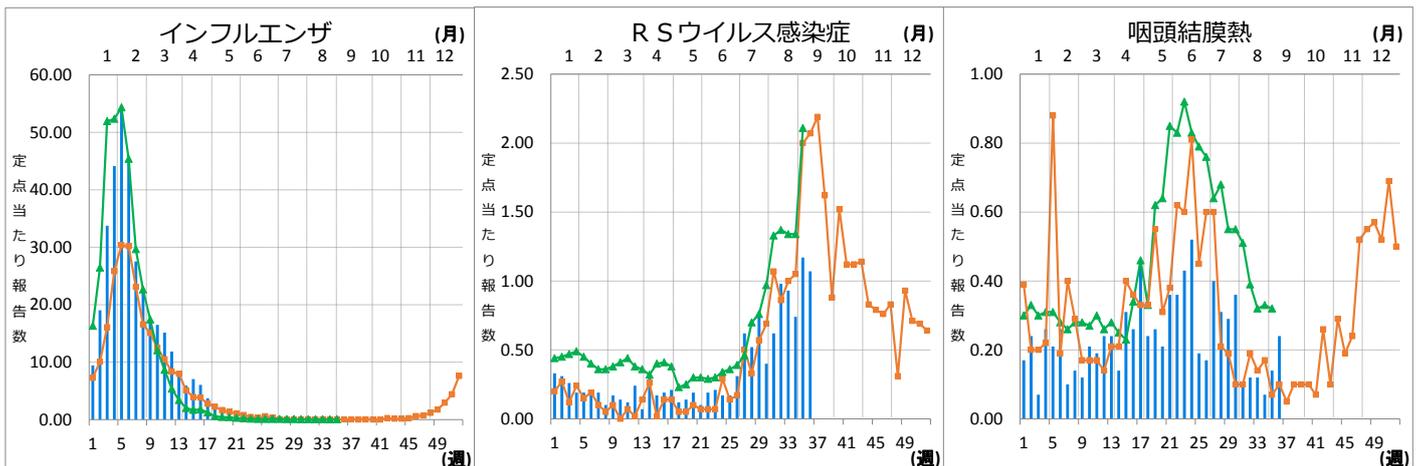
青森県（2018年第1週～2018年第36週までの累計）

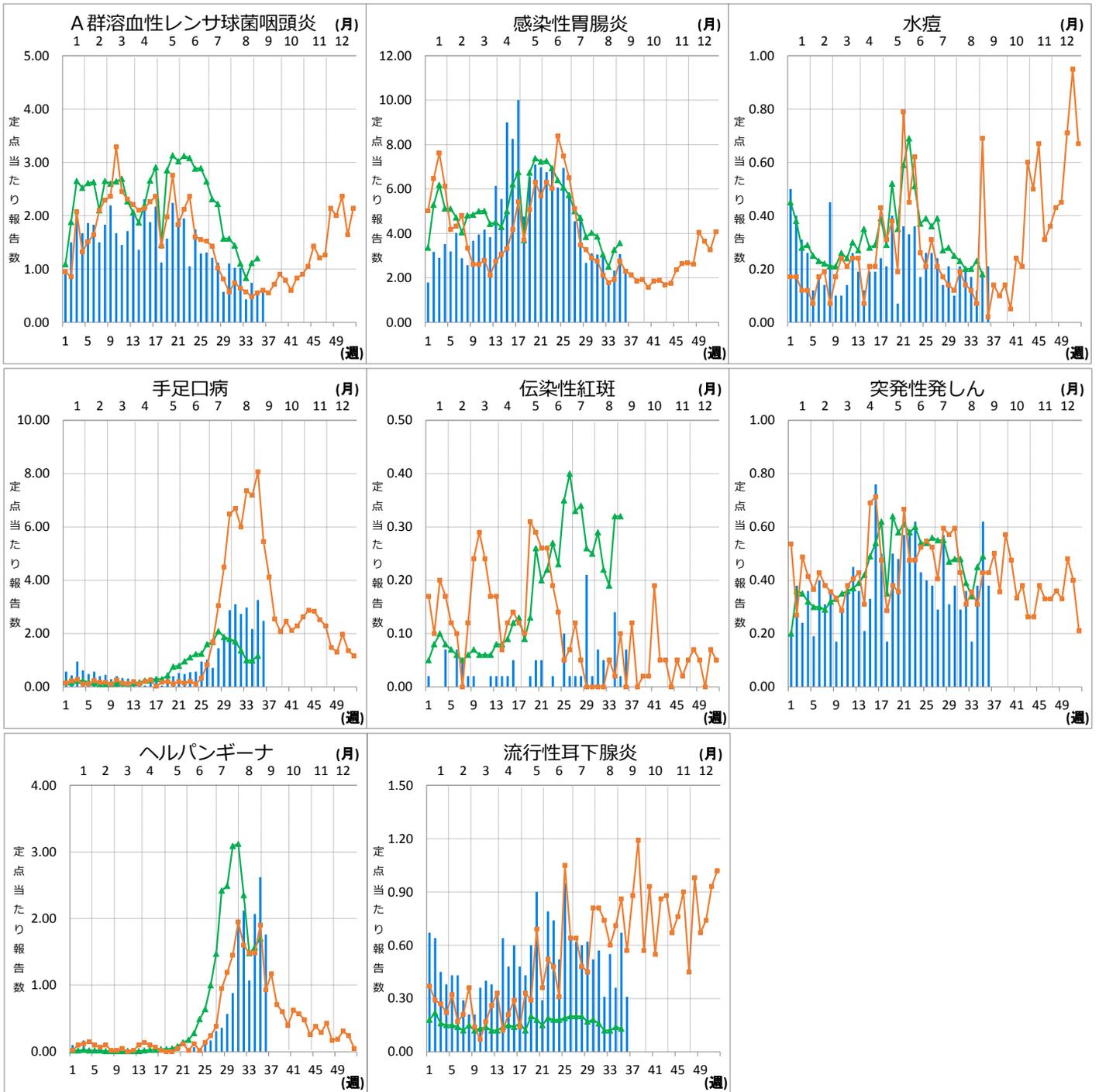
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	139	3	28	1	1	4	5	2	18	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	3	4	4	1	10	4	25	1	4	34

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第36週、ただし全国は前週）

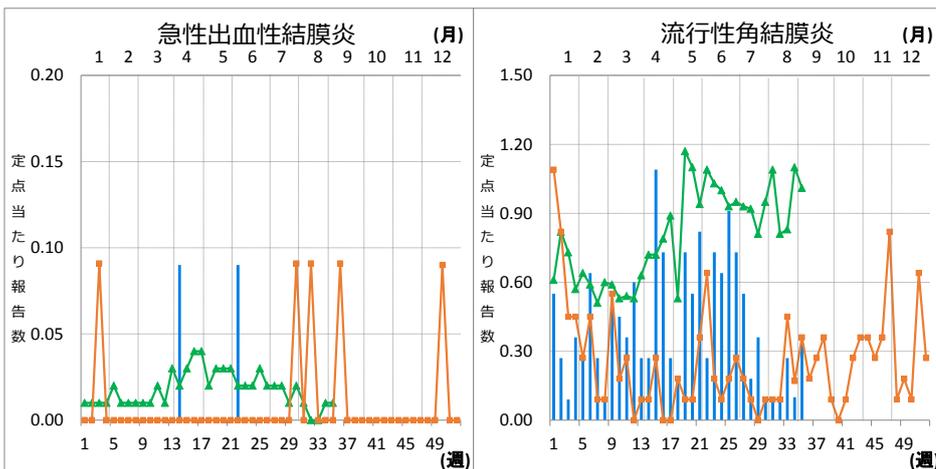
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





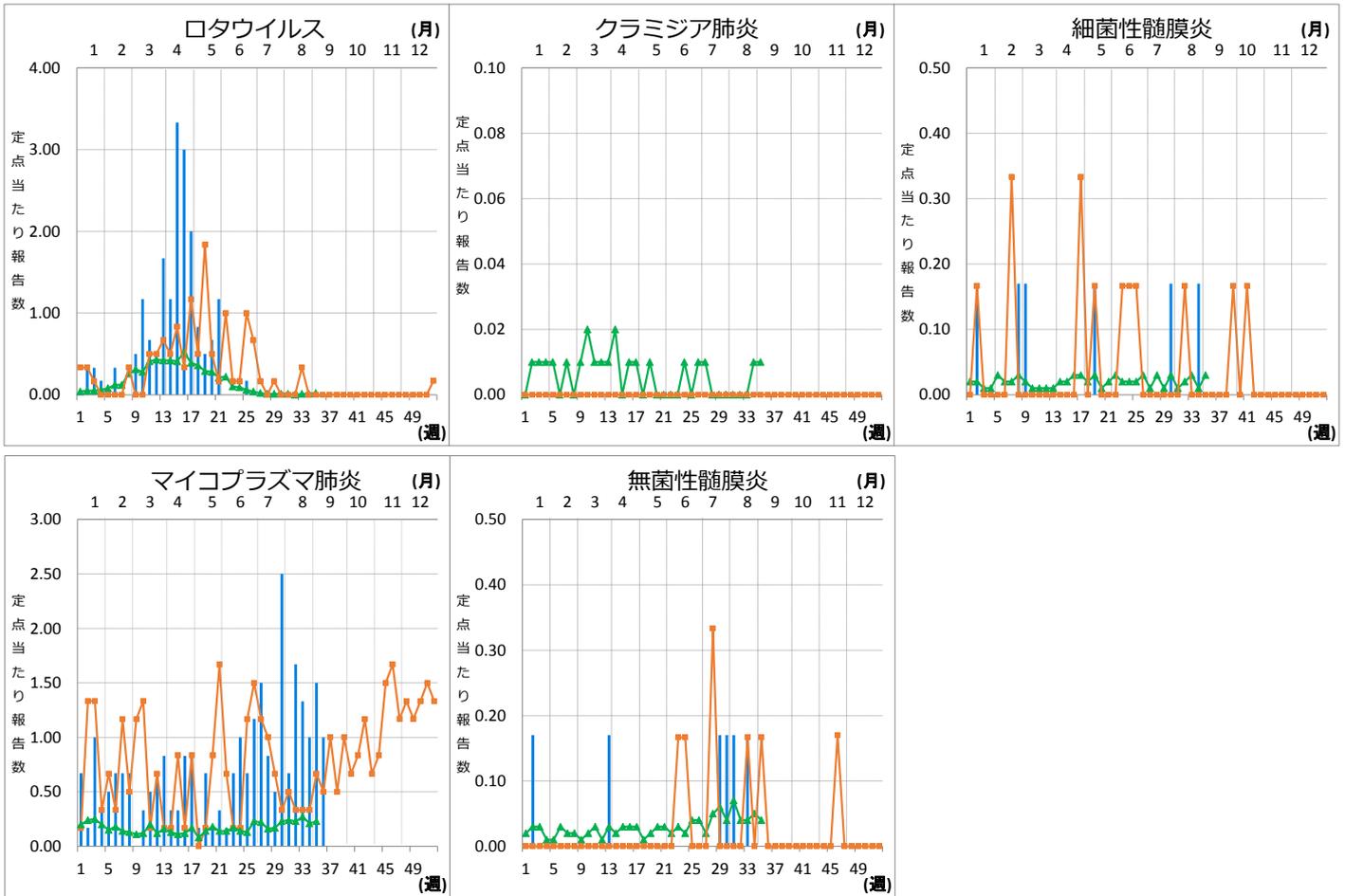
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第36週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —■—は2018年青森県、—■—は2017年青森県、—▲—▲は2018年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第36週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第36週
報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35週 36週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	2	0	0	0	8
	発症者数	0	0	0	56	21	28	0	0	0	105
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	2	0	0	0	14
	発症者数	56	15	36	56	21	28	0	0	0	212